

ブックリスト

“極めるということ”

- 『マン・オン・ワイヤー』フィリップ・プティ（視座 『人と触れる』）
『日本語ほど面白いものはない』柳瀬尚紀（『人と触れる』）
『先生とわたし』四方田犬彦（『人と触れる』）
『静かなる旅人』ファビエンヌ・ヴェルディエ（『人と触れる』）
『ファンタジア』ブルーノ・ムナーリ（『自然に触れる』）
『フェルマーの最終定理』サイモン・シン（『ものに対応する』）

“かたち”

- 『かたち誕生』杉浦康平（『人と触れる』）
『形の生物学』本田久夫（『ものに対応する』）
『形とシンメトリーの饗宴』（『人と触れる』）
『生物は体のかたちを自分で決める』ジョン・メイナード＝スミス（『ものに対応する』）
『形を読む』養老孟司（『人と触れる』）
『かたち』フィリップ・ボール（『ものに対応する』）
『シマウマの縞 蝶の模様』ショーン・B・キャロル（『ものに対応する』）
『生物のかたち』D・トムソン（『人と触れる』）
『かたち三昧』高山博（『人と触れる』）
『代謝建築論』菊竹清訓（『自然に触れる』）

“織り重なる環境と精神”

- 『自己変革するDNA』太田邦著（『ものに対応する』）
『私の進化論』今西錦司著（『人と触れる』）
『神話から歴史へ』宮本一夫著（『人と触れる』）
『スピンはめぐる』朝永振一郎（『ものに対応する』）

“木”

- 『法隆寺を支えた木』西岡常一、小原二郎著（『自然に触れる』）
『バウムの心理臨床』山中康裕ほか編（『ものに対応する』）
『木の文化』小原一郎（『人と触れる』）

“積み重なる環境と精神”

- 『生命からのメッセージ』木下清一郎（『ものに対応する』）
『脳の可塑性と記憶』塚原仲晃（『人と触れる』）
『心は遺伝子をこえるのか』木下清一郎（『人と触れる』）

“態度と哲学”

- 『お能の見方』白洲正子 吉越立雄（『自然に触れる』）
『日本の芸術論』安田章生（『自然に触れる』）
『日本の伝統』岡本太郎（『自然に触れる』）
『魯山人の世界』梶川芳友 林屋晴三 吉田耕三 他（『自然に触れる』）
『身体文化のイメージーション』ヘニング・アイヒベルク（『人と触れる』）
『頭をねる体育』渡辺俊男（『人と触れる』）
『生存する脳』アントニオ・R・ダマシオ（『人と触れる』）
『心拍数と科学』山地啓司（『ものに対応する』）

“構造と心情”

- 『音楽』千蔵八郎（『人と触れる』）
『建築を語る』安藤忠雄（『ものに対応する』）
『音楽は自由にする』坂本龍一（『自然に触れる』）
『日本住宅の歴史』平井聖（『人と触れる』）